

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	設定日（2005年8月31日）から2020年8月5日まで	
運用方針	安定的なインカム収入の確保と中長期的な信託財産の成長を目的として運用を行います。	
主要運用対象	主として欧州債券市場で発行されるユーロ建の社債、企業の信用力を担保とした資産担保証券（CDO）、変動利付債、インフレリンク債等を投資対象とします。投資する債券の格付けは、原則として取得時にS & PでBー格、またはムーディーズでB3格相当以上とします。	
組入制限	株 式	取得時において、信託財産の純資産総額の10%以下とします。
	外国為替取引	ヘッジ目的に限定しません。
	デリバティブ	ヘッジ目的に限定します。
	外貨建資産	外貨建資産への投資に制限はありません。
	投資信託証券	信託財産の純資産総額の5%以下とします。
分配方針	決算日（毎月15日、休業日の場合は翌営業日。）に原則として分配を行います。 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 収益分配額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合、分配を行わないこともあります。	

※課税上は株式投資信託として取扱われます。

運用報告書(全体版) 償還

第172期（決算日 2020年3月16日）
 第173期（決算日 2020年4月15日）
 第174期（決算日 2020年5月15日）
 第175期（決算日 2020年6月15日）
 第176期（決算日 2020年7月15日）
 第177期（償還日 2020年8月5日）

愛称 横 綱

欧州債券・通貨分散型ファンド（毎月分配型）

追加型投信／海外／債券

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 欧州債券・通貨分散型ファンド（毎月分配型）（愛称「横綱」）は、2020年8月5日をもちまして償還いたしました。
 ここに、謹んで運用状況と償還金をご報告申し上げます。
 当ファンドをご愛顧賜りましたことに、厚く御礼申し上げます。

お問い合わせ窓口

BNPパリバ・アセットマネジメント株式会社

電話番号：0120-996-222

受付時間：毎営業日 午前10時～午後5時

<http://www.bnpparibas-am.jp/>

BNPパリバ・アセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-9-1 グラントウキョウノースタワー

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額			債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落			
	円 銭			円		%	百万円
148期(2018年3月15日)	6,123			20		△0.4	1,099
149期(2018年4月16日)	6,209			20		1.7	1,096
150期(2018年5月15日)	6,170			20		△0.3	1,067
151期(2018年6月15日)	6,071			20		△1.3	1,040
152期(2018年7月17日)	6,169			20		1.9	1,045
153期(2018年8月15日)	6,005			20		△2.3	1,007
154期(2018年9月18日)	6,110			20		2.1	1,022
155期(2018年10月15日)	6,041			20		△0.8	997
156期(2018年11月15日)	6,011			20		△0.2	981
157期(2018年12月17日)	5,884			20		△1.8	938
158期(2019年1月15日)	5,663			20		△3.4	898
159期(2019年2月15日)	5,794			20		2.7	914
160期(2019年3月15日)	5,938			10		2.7	935
161期(2019年4月15日)	5,976			10		0.8	924
162期(2019年5月15日)	5,792			10		△2.9	890
163期(2019年6月17日)	5,760			10		△0.4	851
164期(2019年7月16日)	5,792			10		0.7	846
165期(2019年8月15日)	5,654			10		△2.2	822
166期(2019年9月17日)	5,791			10		2.6	833
167期(2019年10月15日)	5,780			10		△0.0	817
168期(2019年11月15日)	5,797			10		0.5	803
169期(2019年12月16日)	5,951			10		2.8	787
170期(2020年1月15日)	5,968			10		0.5	786
171期(2020年2月17日)	5,923			10		△0.6	774
172期(2020年3月16日)	5,348			10		△9.5	692
173期(2020年4月15日)	5,380			10		0.8	696
174期(2020年5月15日)	5,306			10		△1.2	686
175期(2020年6月15日)	5,527			10		4.4	680
176期(2020年7月15日)	5,489			10		△0.5	657
(償還時)	(償還価額)						
177期(2020年8月5日)	5,479.75			—		△0.2	652

(注1) 基準価額は1万円当たり。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注3) 当ファンドの運用成果の評価基準となる適切な指数がないため、ベンチマーク及び参考指数はございません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額	債 組 入 比 率
			騰 落 率	
第172期	(期 首) 2020年 2月17日	円 銭 5,923	% —	% 92.4
	2 月末	5,859	△1.1	93.7
	(期 末) 2020年 3月16日	5,358	△9.5	92.5
第173期	(期 首) 2020年 3月16日	5,348	—	92.5
	3 月末	5,194	△2.9	88.0
	(期 末) 2020年 4月15日	5,390	0.8	88.4
第174期	(期 首) 2020年 4月15日	5,380	—	88.4
	4 月末	5,346	△0.6	75.0
	(期 末) 2020年 5月15日	5,316	△1.2	68.3
第175期	(期 首) 2020年 5月15日	5,306	—	68.3
	5 月末	5,468	3.1	74.9
	(期 末) 2020年 6月15日	5,537	4.4	76.3
第176期	(期 首) 2020年 6月15日	5,527	—	76.3
	6 月末	5,506	△0.4	—
	(期 末) 2020年 7月15日	5,499	△0.5	—
第177期	(期 首) 2020年 7月15日	5,489	—	—
	7 月末	5,481	△0.1	—
	(償還時) 2020年 8月 5 日	(償還価額) 5,479.75	△0.2	—

(注1) 基準価額は1万円当たり。

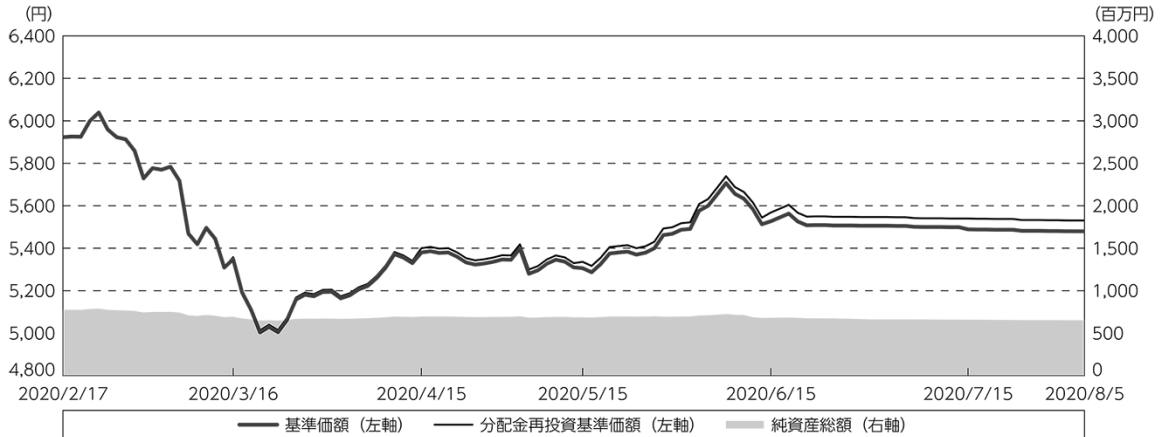
(注2) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注3) 当ファンドの運用成果の評価基準となる適切な指数がないため、ベンチマーク及び参考指数はございません。

○運用経過

（2020年2月18日～2020年8月5日）

■作成期間中の基準価額等の推移



第 172 期 首：5,923円

第177期末(償還日)：5,479円75銭(既払分配金(税込み)：50円)

騰 落 率：△ 6.6% (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2020年2月17日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注4) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注5) 当ファンドの運用成果の評価基準となる適切な指数がないため、ベンチマーク及び参考指数はございません。

■基準価額の主な変動要因

当作成期間に基準価額は443円25銭下落しました。分配金再投資ベースでの基準価額の騰落率は、6.6%の下落でした。

当ファンドは主な投資対象である欧州債券市場で発行されるユーロ建の社債を中心とした債券を高位に組み入れ、通貨は米ドル、ユーロ、英ポンドに配分した運用を行ったため、基準価額は、欧州債券市場および各通貨の対円の動きに影響を受けました。

上昇要因

保有債券からの利息収入を享受したことなどがプラス寄与しました。

下落要因

投資通貨である英ポンドが対円で下落したことなどがマイナスに影響しました。また、信託報酬などの諸費用がマイナスに影響しました。

■投資環境（2005年8月31日～2020年8月5日）**設定来の投資環境****欧州の債券市場**

当ファンドが設定された2005年のユーロ圏経済は、ドイツを中心とした国々における景気回復が成長に貢献しました。インフレ率はECB（欧州中央銀行）が目標としていた2%を若干上回る水準で推移し、2005年12月に5年半ぶりとなる0.25%の利上げが行われ政策金利は2.25%となりました。また、株式市場も堅調に推移したことから欧州市場の金利は上昇しました。2006年のユーロ圏のインフレ率は原油高の影響などから高止まり、CPI（消費者物価指数）はECBの物価安定の目安を上回る状況が続きました。このような環境下、ECBは3月、6月、8月、10月と12月にそれぞれ0.25%の利上げを実施しました。その後も利上げは続き2007年3月、6月にそれぞれ0.25%の利上げを実施しました。2008年の初めはドイツが牽引する形で安定していましたが、その後景気の減速を示す指標が散見されサブプライム問題に端を発した欧米の信用収縮問題が欧州でも実体経済に波及し始めました。インフレ率は、ECBが目標とする2%を上回る水準で推移しました。こうした背景からECBは、2008年7月に0.25%利上げを実施し政策金利を4.25%としました。

しかし、インフレ率は2008年7月HICP（ユーロ圏消費者物価指数）の4.1%をピークに低下し、ECBが目標とする2%を下回る水準に急速に低下しました。ECBは、2008年10月から2009年1月にかけて合計2.25%の利下げを実施し、政策金利を2.0%としました。ECBの緩和的な金融政策が維持されるとの見方が強まったことなどから、長期金利の上昇幅は抑制されました。その後ECBは2009年5月にかけて3回にわたり合計1.0%の利下げを実施し、政策金利を過去最低の1.0%としました。2009年8月中旬以降、G20（財務大臣・中央銀行総裁会議）で世界経済の回復が十分に確立するまで景気刺激策は維持すると言明されたことを受け、利上げまでには時間が掛かるとの見方が台頭し金利は低下しました。2009年11月、中東ドバイの政府系持株会社が、債務の支払期限の延期を要請したドバイ・ショックによる質への逃避などから金利の低下傾向は続きました。2010年1月以降は、ギリシャの巨額財政赤字問題によるリスク回避姿勢が強まったことで金利は再び低下基調となりました。

2010年6月に米国格付け会社ムーディーズによるギリシャ国債の大幅な格下げにより、ギリシャは投資適格の地位を失い、市場での更なる質への逃避を加速させました。2010年の後半は欧州での景気回復期待や輸出関連を中心としたドイツの好調な経済指標の発表が相次いだことや、ECBが日米の中央銀行ほどには追加的金融緩和に積極姿勢を見せなかった事などを背景にドイツ国債利回りは上昇に転じました。2011年3月、東日本大震災の状況が報じられると質への逃避が起こり、一時金利が急低下する局面もありました。その後、トリシェECB総裁による予想外に強いタカ派的発言を受けて、利上げ観測が台頭し、4月には政策金利は0.25%引き上げられ1.25%となりました。

しかし、ポルトガルやアイルランドの国債の格下げが相次いだことや、2011年6月にかけてもギリシャの債務再編への懸念が高まるなど、リスク回避傾向が強まり安全資産とされるドイツ国債の金利は低下しました。ECBは2011年12月、2012年7月と2013年5月に政策金利をそれぞれ0.25%引き下げ0.5%としました。その後2013年11月にはECBが予想外の政策金利の0.25%引き下げを実施しました。2014年はウクライナ情勢の緊迫化や米国長期金利の低下を背景に、世界的な金利低下の影響を受け欧州債券利回りは低下しました。ECBは2014年6月と9月にそれぞれ0.1%の利下げを実施し政策金利を0.05%としました。2015年は中国株暴落に端を発した世界的な株安の影響が続いていましたが、2015年9月半ばにFOMC（米連邦公開市場委員会）で米国の利上げが見送られ、世界的に景気減速への懸念が高まりました。ECBは2016年3月の政策理事会で政策金利を0.05%引き下げ0%としました。また、APP（資産買入れプログラム）の月額買入れ規模拡大、四半期ごと4回の期間4年のターゲット型資金供給の実施からなる包括的な追加緩和策を決定しました。2016年6月下旬に英国の国民投票でEU（欧州連合）離脱派が勝利し、予想外の結果を受けてリスク回避の動きが強まりドイツ10年

国債利回りはマイナス圏に突入しました。その後ECBによる金融政策の方向性や英国のEU離脱の先行きに対する不透明感の後退によって、欧州債券市場の主要な指標であるドイツ10年物国債の利回りは上昇し、2016年10月以降はプラス圏に転じました。2016年11月に入っても米国の大統領選において予想に反してトランプ氏が勝利したことにより金利は上昇しました。その後欧州地域における好調なマクロ経済指標や米国での税制改革法案成立への期待などが好感され、金利の上昇は2018年2月まで続きました。

2018年5月にイタリアのポピュリズム（大衆迎合主義）政党である「五つ星運動」と極右政党の「同盟」が連立政権樹立の動きを強めたことからイタリア政局に対する懸念が高まり、ドイツ10年国債の利回りは低下しました。2019年は欧米の中央銀行の金融緩和姿勢等が好感されドイツ10年国債の利回りの低下は続き2019年5月には再びマイナス圏に入りました。その後も米中貿易交渉の先行き不透明感や世界的な金利低下の流れを受け欧州の長期金利も低下しました。2020年になると、欧州長期金利はイラン情勢の不透明感や新型コロナウイルスの感染拡大懸念などを背景に金利は低下傾向となり償還日を迎えました。

為替市場

2005年から2007年にかけて、為替は円安で推移しました。ユーロ圏の経済は、輸出主導によるドイツを中心とした国々の景気回復がユーロ圏の成長率に貢献しました。ECBの利上げが実施されるなど日欧の金利格差に市場の注目が集まり、ユーロは対円で堅調に推移しました。2008年は米国のサブプライムローン問題の深刻化やリーマン・ブラザーズの経営破綻などを発端に金融危機へ発展したことで、主要国の株式市場が大きく下落しました。日本の金融市場混乱への影響は相対的に軽微とみられた事などから、円が消去法的に買われる展開となり円高が進みました。2009年に入ると世界的な景気回復期待などから逃避通貨としての円の需要が後退しました。この間、ユーロ、英ポンドを含む欧州主要通貨は、リスク選好度の高まりを背景に円に対して上昇しましたが、ギリシャの巨額財政赤字問題や中東ドバイの政府系持株会社が債務の支払期限の延期を要請したことで質への逃避などから、円が買われる展開となりました。その後、円は売られる局面もありましたが、2011年3月の東日本大震災を受けて、海外から日本への資金還流が進むとの思惑などから一段と円高が進みました。その後、G7（財務大臣・中央銀行総裁会議）による円売り協調介入により円安展開となるなど、為替市場は大きな振幅を示しました。その後、ギリシャの財政問題再燃や原油・商品安や世界的株安、米国景気の先行き不透明感の強まりや欧州債務問題などの円高材料が続きリスク回避の円買いが進みました。米国格付け会社S&P社が米国国債を格下げしたことの影響や米国の景気減速、欧州債務危機などのリスク回避姿勢から2011年10月は米ドルが売られる展開となり米ドルは75円台から77円台で推移しました。

2012年2月になると、イタリアなどの国債入札が落ち着いた結果になったことやギリシャ支援の枠組みに進展が見られたことなどを受けて欧州債務危機がやや緩和したと見られ円は売られました。しかし、米国の景気減速や低金利が続くとの見方や、欧州債務問題が深刻化したことなどから安全資産としての円に対する需要が高まりユーロは下落し94円台となりました。2012年末に自民党・安倍政権が発足し、積極的な財政・金融政策を柱とするアベノミクスのもと、日銀が大胆な金融緩和を実施したことなどから円安となりました。その後も米国の経済指標が改善するとともにFRB（米連邦準備理事会）の金融政策が引き締めに向かうとの思惑が広がった一方で、日銀が追加緩和を実施したことなどから円は2015年にかけて円安基調をたどりましたが、2015年8月に中国が人民元の切り下げを実施したことを契機にアジア通貨が軒並み下落し円高となりました。2016年に入ってもリスク回避姿勢は継続し米国で利上げが見送られたことなどから、安全資産とされる円を買う動きが広がり、円高が更に進みました。2016年6月に英国の国民投票でEU離脱派が勝利し、予想外の結果を受けてリスク回避の動きが強まり英ポンドやユーロも下落しました。その後、2016年11月の米国大統領選でトランプ氏の当選後は、景気拡大期待などを背景に円安米ドル高が進みました。2017年に入ると、トランプ政権の政策に対する不透明感やロシアとの関係をめぐる疑惑、シリアや北朝鮮情勢などの地政学リスクなどの動きに左右される展開が続きました。英国では、2017年4月にメイ首相が総選挙の前倒し実施を決定した際に

は期待感などから英ポンドは対円で上昇したものの、その後与党保守党が単独での過半数割れになると、EU離脱交渉への影響が懸念されたことなどから英ポンドは下落しました。2018年に入ると欧米の政治リスクを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まったことから円が選好されました。米中の貿易交渉の不透明感、英国のEU離脱問題の先行きやイタリアの政治的不透明感などの欧州の政治リスクが意識されたことなどで米ドル、ユーロは対円で下落しました。2020年に入ると新型コロナウイルスの感染拡大による景気見通しに対する不透明感に加えて、原油相場をめぐる中東リスクの再燃から投資家のリスク回避姿勢が強まりました。3月以降、資金繰り懸念による世界的な米ドル需要の高まりに対してFRBが米ドル供給を行うことで需給ひっ迫が和らぎ、米ドルが上昇する局面もありましたが、米ドルは対円で下落しました。

■当ファンドのポートフォリオ（2005年8月31日～2020年8月5日）

当ファンドは相対的に高い利息収入が期待されるハイイールド債を含む社債を中心としたポートフォリオを維持しました。為替リスクの分散をはかるため米ドル、ユーロ、英ポンドを毎月調整しました。

2020年6月17日に繰上償還を行うことが決定されたことから、組入有価証券を売却しました。

■分配金（2020年2月18日～2020年8月5日）

収益分配方針に基づき、経費控除後の利子・配当等収益や基準価額の水準等を勘案し、第172期から176期の各決算期に1万口当たり10円（税込み）の収益分配を行いました。

なお、分配金に充てなかった留保益については、特に制限を設けず、元本と同一の運用を行いました。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第172期	第173期	第174期	第175期	第176期
	2020年2月18日～ 2020年3月16日	2020年3月17日～ 2020年4月15日	2020年4月16日～ 2020年5月15日	2020年5月16日～ 2020年6月15日	2020年6月16日～ 2020年7月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	10 0.187%	10 0.186%	10 0.188%	10 0.181%	10 0.182%
当期の収益	7	10	4	10	—
当期の収益以外	2	—	5	—	10
翌期繰越分配対象額	167	171	165	167	158

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

■償還について

当ファンドは、2020年8月5日に繰上償還し、償還価額は5,479円75銭となりました。

当ファンドをご愛顧頂きまして、誠にありがとうございました。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年 2 月 18 日～2020年 8 月 5 日)

項 目	第172期～第177期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 45	% 0.817	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(22)	(0.393)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(21)	(0.383)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.041)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	13	0.237	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(12)	(0.228)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の 移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.009)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	58	1.054	
作成期間の平均基準価額は、5,475円です。			

(注1) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

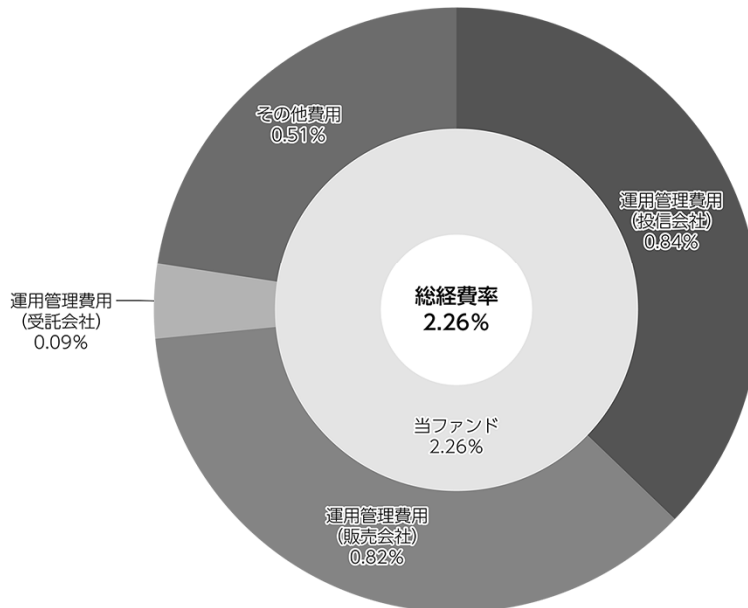
(注3) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.26%です。



(注1) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2020年2月18日～2020年8月5日）

公社債

			第172期～第177期	
			買付額	売付額
外国	アメリカ	社債券（投資法人債券を含む）	千米ドル —	千米ドル 231
	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	社債券（投資法人債券を含む）	101	980
	イタリア	社債券（投資法人債券を含む）	199	574
	フランス	社債券（投資法人債券を含む）	—	980
	オランダ	社債券（投資法人債券を含む）	191	478
	スペイン	社債券（投資法人債券を含む）	196	682
	ベルギー	社債券（投資法人債券を含む）	—	107
	オーストリア	社債券（投資法人債券を含む）	—	157
	ルクセンブルク	社債券（投資法人債券を含む）	—	212
	アイルランド	社債券（投資法人債券を含む）	—	202
	その他	社債券（投資法人債券を含む）	101	1,437 (200)
	イギリス	社債券（投資法人債券を含む）	千英ポンド —	千英ポンド 198

（注1）金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

（注2）単位未満は切り捨て。

（注3）（ ）内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

（注4）社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

（注5）社債券（投資法人債券を含む）には資産担保証券も含まれております。

○利害関係人との取引状況等

（2020年2月18日～2020年8月5日）

利害関係人との取引状況

区分	第172期～第177期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 93	百万円 —	% —	百万円 747	百万円 36	% 4.8

（注1）金額の単位未満は切り捨て。

（注2）公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはBNP PARIBASです。

○組入資産の明細

(2020年 8 月 5 日現在)

2020年 8 月 5 日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2020年 8 月 5 日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	653,102	100.0
投資信託財産総額	653,102	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び償還(基準)価額の状況

項 目	第172期末	第173期末	第174期末	第175期末	第176期末	償 還 時
	2020年3月16日現在	2020年4月15日現在	2020年5月15日現在	2020年6月15日現在	2020年7月15日現在	2020年8月5日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,514,632,913	1,705,822,321	1,942,262,274	1,401,322,001	659,932,098	653,102,253
コール・ローン等	55,653,550	77,951,994	213,161,785	161,573,128	659,719,575	653,102,253
公社債(評価額)	641,125,134	615,478,974	468,742,461	519,595,432	—	—
未収入金	806,047,097	1,000,524,977	1,251,399,229	711,723,754	—	—
未収利息	10,840,169	10,814,580	7,274,126	7,712,661	—	—
前払費用	—	—	554,861	576,849	—	—
その他未収収益	966,963	1,051,796	1,129,812	140,177	212,523	—
(B) 負債	821,687,599	1,009,735,644	1,255,793,790	720,678,148	2,166,087	664,704
未払金	819,367,900	1,007,456,455	1,253,483,047	718,027,881	—	—
未払収益分配金	1,295,803	1,293,733	1,293,733	1,231,483	1,198,433	—
未払解約金	—	—	—	360,140	—	—
未払信託報酬	1,008,635	970,710	1,001,449	1,042,602	965,937	663,005
未払利息	141	193	547	412	1,717	1,699
その他未払費用	15,120	14,553	15,014	15,630	—	—
(C) 純資産総額(A－B)	692,945,314	696,086,677	686,468,484	680,643,853	657,766,011	652,437,549
元本	1,295,803,334	1,293,733,334	1,293,733,334	1,231,483,334	1,198,433,334	1,190,633,334
次期繰越損益金	△ 602,858,020	△ 597,646,657	△ 607,264,850	△ 550,839,481	△ 540,667,323	—
償還差損金	—	—	—	—	—	△ 538,195,785
(D) 受益権総口数	1,295,803,334口	1,293,733,334口	1,293,733,334口	1,231,483,334口	1,198,433,334口	1,190,633,334口
1万口当たり基準価額(C／D)	5,348円	5,380円	5,306円	5,527円	5,489円	—
1万口当たり償還価額(C／D)	—	—	—	—	—	5,479円75銭

(注1) 当ファンドの第172期首元本額は1,307,003,334円、第172～177期中追加設定元本額は0円、第172～177期中一部解約元本額は116,370,000円です。また、1口当たり純資産額は、第172期0.5348円、第173期0.5380円、第174期0.5306円、第175期0.5527円、第176期0.5489円、第177期0.547975円です。

(注2) 各期における純資産総額が元本を下回っており、その差額は以下の通りです。(単位：円)

第172期	第173期	第174期	第175期	第176期	償還時
602,858,020	597,646,657	607,264,850	550,839,481	540,667,323	538,195,785

○損益の状況

項 目	第172期	第173期	第174期	第175期	第176期	第177期
	2020年2月18日～ 2020年3月16日	2020年3月17日～ 2020年4月15日	2020年4月16日～ 2020年5月15日	2020年5月16日～ 2020年6月15日	2020年6月16日～ 2020年7月15日	2020年7月16日～ 2020年8月5日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	2,150,151	2,097,952	1,726,894	1,524,055	410,914	△ 35,736
受取利息	2,041,150	2,019,050	1,660,987	1,496,682	322,517	—
その他収益金	119,698	84,299	78,016	48,676	132,663	—
支払利息	△ 10,697	△ 5,397	△ 12,109	△ 21,303	△ 44,266	△ 35,736
(B) 有価証券売買損益	△ 74,196,355	4,652,692	△ 8,907,233	28,124,194	△ 2,393,049	2,392
売買益	17,284,522	22,233,673	13,767,943	62,378,802	9,696,909	—
売買損	△ 91,480,877	△ 17,580,981	△ 22,675,176	△ 34,254,608	△ 12,089,958	2,392
(C) 信託報酬等	△ 1,168,899	△ 1,210,031	△ 1,144,121	△ 1,225,494	△ 1,498,099	△ 1,034,989
(D) 当期損益金 (A+B+C)	△ 73,215,103	5,540,613	△ 8,324,460	28,422,755	△ 3,480,234	△ 1,068,333
(E) 前期繰越損益金	△336,690,950	△410,543,559	△406,296,679	△395,888,510	△358,734,455	△361,026,890
(F) 追加信託差損益金	△191,656,164	△191,349,978	△191,349,978	△182,142,243	△177,254,201	△176,100,562
(配当等相当額)	(19,607,263)	(19,575,940)	(19,575,940)	(18,633,948)	(18,133,879)	(18,015,857)
(売買損益相当額)	(△211,263,427)	(△210,925,918)	(△210,925,918)	(△200,776,191)	(△195,388,080)	(△194,116,419)
(G) 計 (D+E+F)	△601,562,217	△596,352,924	△605,971,117	△549,607,998	△539,468,890	—
(H) 収益分配金	△ 1,295,803	△ 1,293,733	△ 1,293,733	△ 1,231,483	△ 1,198,433	—
次期繰越損益金 (G+H)	△602,858,020	△597,646,657	△607,264,850	△550,839,481	△540,667,323	—
償還差損金 (D+E+F+H)	—	—	—	—	—	△538,195,785
追加信託差損益金	△191,656,164	△191,349,978	△191,349,978	△182,142,243	△177,254,201	—
(配当等相当額)	(19,607,263)	(19,575,940)	(19,575,940)	(18,633,948)	(18,133,879)	(—)
(売買損益相当額)	(△211,263,427)	(△210,925,918)	(△210,925,918)	(△200,776,191)	(△195,388,080)	(—)
分配準備積立金	2,157,497	2,583,565	1,872,605	2,024,672	840,180	—
繰越損益金	△413,359,353	△408,880,244	△417,787,477	△370,721,910	△364,253,302	—

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 当ファンドの運用の指図に係る権限の委託に関する費用は、2020年2月18日～2020年8月5日の期間において1,217,581円です。

(注5) 分配金の計算過程

第172期 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (981,252円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (19,607,263円) および分配準備積立金 (2,472,048円) より分配対象収益は23,060,563円 (10,000口当たり177円) であり、うち1,295,803円 (10,000口当たり10円) を分配金額としております。

第173期 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (1,721,874円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (19,575,940円) および分配準備積立金 (2,155,424円) より分配対象収益は23,453,238円 (10,000口当たり181円) であり、うち1,293,733円 (10,000口当たり10円) を分配金額としております。

第174期 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (582,773円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (19,575,940円) および分配準備積立金 (2,583,565円) より分配対象収益は22,742,278円 (10,000口当たり175円) であり、うち1,293,733円 (10,000口当たり10円) を分配金額としております。

第175期 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (1,461,065円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (18,633,948円) および分配準備積立金 (1,795,090円) より分配対象収益は21,890,103円 (10,000口当たり177円) であり、うち1,231,483円 (10,000口当たり10円) を分配金額としております。

第176期 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (0円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (18,133,879円) および分配準備積立金 (2,038,613円) より分配対象収益は20,172,492円 (10,000口当たり168円) であり、うち1,198,433円 (10,000口当たり10円) を分配金額としております。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2005年8月31日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2020年8月5日		資産総額	653,102,253円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	664,704円
				純資産総額	652,437,549円
受益権口数	7,247,320,000口	1,190,633,334口	△6,056,686,666口	受益権口数	1,190,633,334口
元本額	7,247,320,000円	1,190,633,334円	△6,056,686,666円	1万口当たり償還金	5,479円75銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	11,762,720,000円	5,861,981,186円	4,984円	55円	0.55%
第2期	11,530,980,000	5,852,246,996	5,075	55	0.55
第3期	11,264,240,000	5,655,034,885	5,020	55	0.55
第4期	11,172,290,000	5,828,472,328	5,217	55	0.55
第5期	11,032,240,000	5,469,330,361	4,958	55	0.55
第6期	10,456,720,000	5,148,702,324	4,924	55	0.55
第7期	9,945,680,000	4,670,887,562	4,696	40	0.40
第8期	9,317,760,000	4,031,979,846	4,327	40	0.40
第9期	8,878,810,000	3,579,863,663	4,032	40	0.40
第10期	8,288,430,000	3,313,580,655	3,998	40	0.40
第11期	8,045,960,000	3,195,678,478	3,972	40	0.40
第12期	7,631,640,000	2,903,816,270	3,805	40	0.40
第13期	7,381,780,000	2,781,180,675	3,768	40	0.40
第14期	6,943,680,000	2,826,464,478	4,071	40	0.40
第15期	6,809,310,000	3,026,972,727	4,445	40	0.40
第16期	6,725,280,000	2,829,781,267	4,208	40	0.40
第17期	6,617,650,000	2,728,814,480	4,124	40	0.40
第18期	6,160,950,000	2,443,360,051	3,966	40	0.40
第19期	6,013,410,000	2,380,064,065	3,958	40	0.40
第20期	5,841,540,000	2,346,844,140	4,018	40	0.40
第21期	5,734,170,000	2,411,912,582	4,206	20	0.20
第22期	5,364,940,000	2,237,173,137	4,170	20	0.20
第23期	5,134,840,000	2,202,871,758	4,290	20	0.20
第24期	5,027,260,000	2,336,781,523	4,648	20	0.20
第25期	5,000,360,000	2,536,609,349	5,073	20	0.20
第26期	4,959,010,000	2,575,372,078	5,193	20	0.20
第27期	4,756,900,000	2,531,354,584	5,321	20	0.20
第28期	4,524,010,000	2,493,634,159	5,512	20	0.20
第29期	4,444,210,000	2,545,759,379	5,728	20	0.20
第30期	4,316,090,000	2,281,253,173	5,285	20	0.20

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1 万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第31期	4,228,500,000円	2,363,420,476円	5,589円	20円	0.20%
第32期	4,169,000,000	2,330,784,501	5,591	20	0.20
第33期	4,053,340,000	2,293,392,479	5,658	20	0.20
第34期	3,968,840,000	2,270,264,612	5,720	20	0.20
第35期	3,879,480,000	2,276,477,315	5,868	20	0.20
第36期	3,792,840,000	2,317,990,487	6,111	20	0.20
第37期	3,733,440,000	2,312,820,900	6,195	20	0.20
第38期	3,688,570,000	2,236,647,440	6,064	20	0.20
第39期	3,619,440,000	2,217,938,369	6,128	20	0.20
第40期	3,563,740,000	2,200,349,250	6,174	20	0.20
第41期	3,462,840,000	2,145,749,811	6,197	20	0.20
第42期	3,388,190,000	2,099,144,591	6,195	20	0.20
第43期	3,356,443,334	2,065,186,910	6,153	20	0.20
第44期	3,297,143,334	2,010,892,500	6,099	20	0.20
第45期	3,235,243,334	2,046,016,456	6,324	20	0.20
第46期	3,207,313,334	1,984,324,859	6,187	20	0.20
第47期	3,150,233,334	2,123,110,364	6,740	20	0.20
第48期	3,032,203,334	2,069,622,586	6,825	20	0.20
第49期	3,007,113,334	1,994,771,111	6,634	20	0.20
第50期	2,938,963,334	1,972,872,326	6,713	20	0.20
第51期	2,908,013,334	1,946,408,714	6,693	20	0.20
第52期	2,866,093,334	1,896,293,907	6,616	20	0.20
第53期	2,825,803,334	1,896,586,117	6,712	20	0.20
第54期	2,783,953,334	1,891,219,868	6,793	20	0.20
第55期	2,738,523,334	1,842,297,002	6,727	20	0.20
第56期	2,662,313,334	1,807,931,092	6,791	20	0.20
第57期	2,639,863,334	1,730,346,811	6,555	20	0.20
第58期	2,613,213,334	1,677,515,290	6,419	20	0.20
第59期	2,529,913,334	1,645,741,836	6,505	20	0.20
第60期	2,490,283,334	1,595,953,566	6,409	20	0.20
第61期	2,464,723,334	1,506,478,655	6,112	20	0.20
第62期	2,419,523,334	1,380,319,258	5,705	20	0.20
第63期	2,381,043,334	1,448,164,327	6,082	20	0.20
第64期	2,279,273,334	1,336,393,148	5,863	20	0.20
第65期	2,239,973,334	1,301,258,437	5,809	20	0.20
第66期	2,228,973,334	1,256,383,338	5,637	20	0.20
第67期	2,185,533,334	1,238,155,916	5,665	20	0.20
第68期	2,164,133,334	1,191,943,110	5,508	20	0.20
第69期	2,114,683,334	1,176,340,121	5,563	20	0.20

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1 万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第70期	2,094,633,334円	1,161,206,871円	5,544円	20円	0.20%
第71期	2,056,283,334	1,160,890,720	5,646	20	0.20
第72期	2,051,803,334	1,266,819,241	6,174	20	0.20
第73期	2,007,973,334	1,209,775,308	6,025	20	0.20
第74期	2,003,823,334	1,212,663,528	6,052	20	0.20
第75期	1,996,553,334	1,207,889,732	6,050	20	0.20
第76期	1,991,953,334	1,145,311,425	5,750	20	0.20
第77期	1,987,153,334	1,232,808,630	6,204	20	0.20
第78期	1,967,553,334	1,194,516,220	6,071	20	0.20
第79期	1,953,103,334	1,224,197,469	6,268	20	0.20
第80期	1,944,003,334	1,214,525,373	6,248	20	0.20
第81期	1,938,603,334	1,220,896,354	6,298	20	0.20
第82期	1,878,603,334	1,204,109,561	6,410	20	0.20
第83期	1,854,213,334	1,200,592,139	6,475	20	0.20
第84期	1,836,723,334	1,179,116,989	6,420	20	0.20
第85期	1,831,263,334	1,179,390,423	6,440	20	0.20
第86期	1,819,313,334	1,121,579,194	6,165	20	0.20
第87期	1,796,453,334	1,099,893,042	6,123	20	0.20
第88期	1,765,173,334	1,096,064,011	6,209	20	0.20
第89期	1,730,223,334	1,067,566,307	6,170	20	0.20
第90期	1,713,423,334	1,040,278,090	6,071	20	0.20
第91期	1,694,733,334	1,045,457,852	6,169	20	0.20
第92期	1,677,613,334	1,007,353,023	6,005	20	0.20
第93期	1,673,333,334	1,022,486,323	6,110	20	0.20
第94期	1,652,033,334	997,999,603	6,041	20	0.20
第95期	1,633,083,334	981,695,018	6,011	20	0.20
第96期	1,594,283,334	938,079,624	5,884	20	0.20
第97期	1,585,983,334	898,156,719	5,663	20	0.20
第98期	1,578,753,334	914,658,893	5,794	20	0.20
第99期	1,575,003,334	935,285,106	5,938	10	0.10
第100期	1,547,333,334	924,720,306	5,976	10	0.10
第101期	1,537,233,334	890,349,882	5,792	10	0.10
第102期	1,478,383,334	851,617,548	5,760	10	0.10
第103期	1,462,283,334	846,996,592	5,792	10	0.10
第104期	1,453,983,334	822,011,371	5,654	10	0.10
第105期	1,438,683,334	833,114,786	5,791	10	0.10
第106期	1,413,683,334	817,062,809	5,780	10	0.10
第107期	1,385,883,334	803,461,661	5,797	10	0.10
第108期	1,323,253,334	787,429,001	5,951	10	0.10

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1 万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第109期	1,318,503,334円	786,937,831円	5,968円	10円	0.10%
第110期	1,307,003,334	774,080,986	5,923	10	0.10
第111期	1,295,803,334	692,945,314	5,348	10	0.10
第112期	1,293,733,334	696,086,677	5,380	10	0.10
第113期	1,293,733,334	686,468,484	5,306	10	0.10
第114期	1,231,483,334	680,643,853	5,527	10	0.10
第115期	1,198,433,334	657,766,011	5,489	10	0.10

○分配金のお知らせ

	第172期	第173期	第174期	第175期	第176期
1 万口当たり分配金（税込み）	10円	10円	10円	10円	10円

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金は、分配後の基準価額と個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分）に分けられます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

○償還金のお知らせ

1 万口当たり償還金（税込み）	5,479円75銭
-----------------	-----------